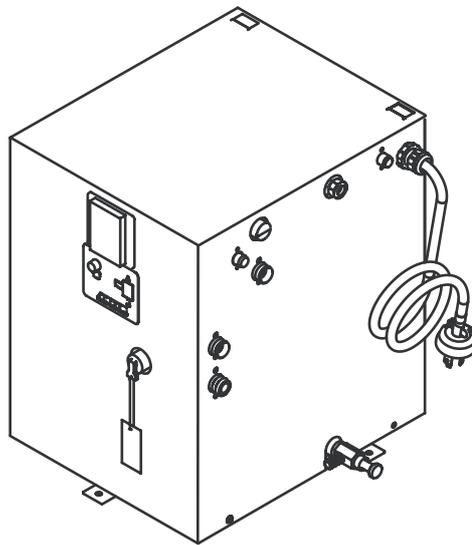


# 工事要領・取扱説明書

製品名：飲用洗物両用電気給湯器

型 式：ES-12,20,25,30,35,50DW3B/-M(R/L)



このたびは、電気給湯器をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品を安全に正しく設置・ご利用していただくために、事前に必ず本書をお読みいただき、十分に理解してください。  
設置工事（試運転）後は本書をご使用になる方に必ずお渡しください。  
本書はお読みになった後、いつでも使用できるように所定の場所に保管してください。  
（この取扱説明書に記載されている事項を守らないで発生した事故について、弊社は責任を負いません。）

株式会社 **日本イトミック**

〒130-0002 東京都墨田区業平 5-11-3 イトミックビル  
TEL:03 (3621) 2121 (大代表) FAX:03 (3621) 2130  
フロント課（修理依頼承り先）  
TEL:03 (3621) 2161(代表) FAX:03 (3621) 2163

# もくじ

<b>共通項目</b> .....	<b>2</b>
<b>安全上のご注意</b> .....	<b>3</b>
<b>ES-DW3Bについて</b> .....	<b>5</b>
ラインナップ .....	5
各部名称とはたらき .....	5
仕様一覧 .....	6
<b>工所要領</b> .....	<b>8</b>
<b>施工前にご確認ください</b> .....	<b>9</b>
①部品の確認 .....	9
②設置場所の確認 .....	10
<b>施工する</b> .....	<b>11</b>
①設置する .....	11
②配管工事 .....	13
③電気工事 .....	14
④施工後の確認 .....	14
<b>試運転を行う</b> .....	<b>15</b>
①給湯器に給水する .....	15
②試運転を行う .....	17
③試運転後の確認 .....	18
<b>取扱説明</b> .....	<b>20</b>
<b>使用方法</b> .....	<b>21</b>
①使用前の準備と確認 .....	22
②運転する .....	22
③出湯する .....	24
<b>長期間使用しないときは(排水の方法)</b> .....	<b>25</b>
<b>お手入れの方法</b> .....	<b>26</b>
外装のお手入れ .....	26
<b>保守点検項目と実施の目安</b> .....	<b>27</b>
逃し弁の動作確認 .....	28
<b>こんなときは</b> .....	<b>30</b>
<b>リセットの方法</b> .....	<b>32</b>
修理技術者の方のみ ストレーナーの清掃 .....	33
<b>アフターサービス</b> .....	<b>35</b>
消耗品について .....	35
修理をご依頼の際には .....	35

# 共通項目

## 安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただく事項を記載しました。設置の前に、本書を必ずお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

### 警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

 **警告** この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。

 **注意** この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。



△の記号は、注意(警告を含む)をうながす事項を示しています。  
△の中に具体的な注意内容が描かれています。  
(左図の場合は高温注意を意味します。)



⊘の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。  
⊘の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。  
(左図の場合は分解禁止を意味します。)



●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。  
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。  
(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと、という指示です。)

### 重要事項：必ずお守りください

 <b>警告</b>	
	<b>アース(D種接地) 工事を確認してください。</b> アース工事がされないと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。
	<b>電圧は規定電圧の±10%以内でお使いください。</b> 火災の原因になります。
	<b>必ず電源一次側に漏電ブレーカーを取り付け、動作を確認してください。</b> 万一の故障等による漏電の時に感電するおそれがあります。
	<b>絶対に改造はしないでください。</b> 火災・感電・やけどやケガの原因となります。
	<b>屋外に設置しないでください。</b> 感電や故障の原因となります。
	<b>設置・リセット操作・メンテナンス時以外は前面カバーを開けないでください。</b> 感電・やけどのおそれがあります。
	<b>本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。</b> 発火のおそれがあります。
	<b>湿気が多い場所や浴室には設置・使用しないでください。</b> 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障や感電のおそれがあります。

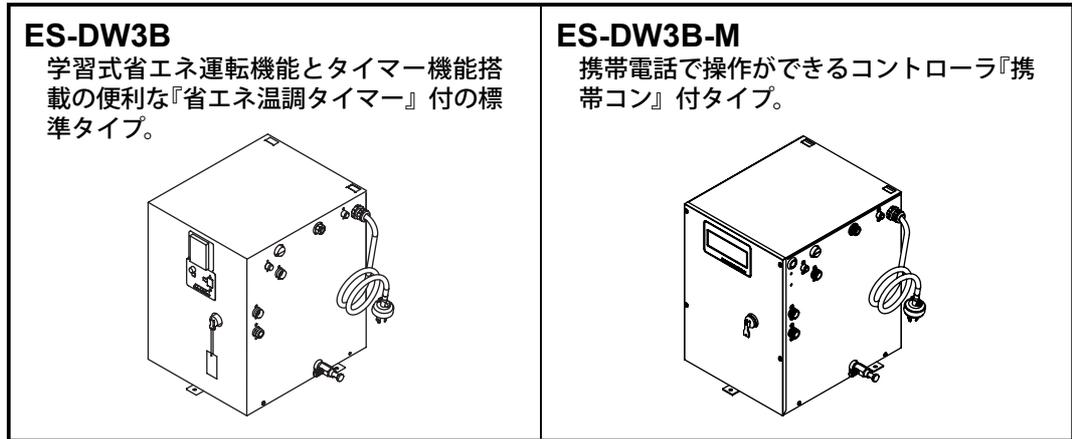
 <b>警告</b>	
	逃し弁点検時は、逃し弁や配管に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

 <b>注意</b>	
	給湯器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
	給湯温度が 60℃以下の場合、飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
	水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。水道水に添加物を混ぜることも同様の危険があります。
	床面に防水・排水処理を施してください。 水漏れが起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。
	給湯器の運転質量に十分耐えられる強度を持った床面に必ず水平に設置してください。 故障の原因となります。
	異種金属の配管をする場合は、電食防止処置を施してください。 漏水の原因になります。
	逃しパイプはかならず下り勾配で取り付けてください。 膨張水が逆流するおそれがあります。
	満水にしてから通電してください。 過熱して発火や故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作や故障の原因になります。
	定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。 万一の不動作でタンクが破損したり事故の原因になります。
	水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。 タンクや配管が破裂してやけどをするおそれがあります。
長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損するおそれがあります。	

# ES-DW3Bについて

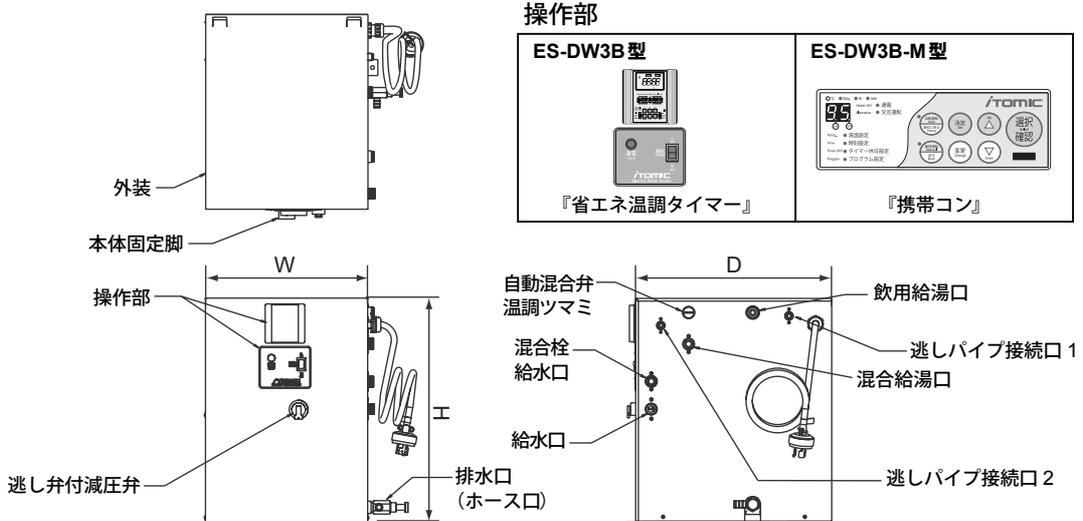
イトミックのES-DW3Bは95℃の沸かし上げを行う床置用の貯湯式電気給湯器です。

**ラインナップ** ※ ES-DW3Bは配管口の向きにより型番にL (左) もしくはR (右) がつきます。配管口以外の仕様は共通です。本誌ではLおよびRの表記を省略する場合があります。



## 各部名称とはたらき

図は配管口が右側にあるES-DW3BR。



名称	説明
操作部	ES-DW3B型は『省エネ温調タイマー』、ES-DW3B-M型には『携帯コン』がついており、どちらも湯温設定・タイマー運転設定・電源のON/OFFなど各種操作・設定が行えます。(詳細は付属の取扱説明書をご参照ください。また、12%のES-12DW3Bは銘板、通電ランプ、運転スイッチがタイマーの右側についています。)
逃し弁付減圧弁	湯槽内の圧力を97kPa以下に保持します。(テストレバー付き) 沸かし上げ中は、逃しパイプ接続口に接続した逃しパイプから膨張水を排出します。
飲用給湯口	ここから約95℃の飲料用としてお使いいただける熱湯を給湯します。
混合給湯口	ここから約45℃の洗い物用としてお使いいただけるお湯を給湯します。
自動混合弁温調ツマミ	コインなどで回すことで混合給湯口からの出湯温度を調節することができます。
給水口	給水を接続します。
逃しパイプ接続口 1・2	タンク内の空気や水蒸気と膨張水を排出します。(両方とも必ず接続する必要があります)
排水口	排水用のホース(お客様手配品) 接続して湯槽内の水を排出する時に使用します。

仕様一覧

型番	ES-12DW3B (R/L)	ES-20DW3B (R/L)	ES-25DW3B (R/L)	ES-30DW3B (R/L)	ES-35DW3B (R/L)	ES-50DW3B (R/L)	
定格	電圧	単相 200V					
	消費電力	1.1kW / 1.5kW	☺ 2.1kW / 3.0kW				
電源プラグ	プラグ形状 / 許容量	引掛型 接地 2P 250V 20A					
	対応コンセント	(※) WF2520B/W、WK2520B/W					
	貯湯量	12 <sup>リットル</sup>	20 <sup>リットル</sup>	25 <sup>リットル</sup>	30 <sup>リットル</sup>	35 <sup>リットル</sup>	50 <sup>リットル</sup>
	沸き上がり温度	約 40 ~ 95℃					
沸き上がり時間★	1.1kW	61分	—	—	—	—	—
	1.5kW	45分	—	—	—	—	—
	2.1kW	—	52分	67分	80分	91分	130分
	3.0kW	—	36分	47分	56分	63分	91分
	給湯方式	先止式					
	給水圧力	0.1 ~ 0.5MPa					
	最高使用圧力	0.1MPa以下					
	給水・給湯接続口径	G1/2 (15A)					
	使用水温	0 (但し凍結のないこと) ~ 40℃以下					
	雰囲気温度	0 (但し凍結のないこと) ~ 40℃					
	湿度	10 ~ 60%以下 (但し結露のないこと)					
	据付方式	床置き					
	据付寸法W×D×H (mm)	250×340×388	300×365×421	370×430×374	370×430×419	370×430×469	370×430×619
	運転質量	約 21kg	約 33kg	約 40kg	約 46kg	約 51kg	約 69kg
主要部品	ヒーター	シーズヒーター (SUS316L)					
	減圧弁	設定圧力 80kPa					
	逃し弁	設定圧力 97kPa					
	間欠エア抜き弁	定時開放					
	自動混合弁	設定温度 45℃ (30 ~ 50℃可変)					
	電源コード	1.0m (電源プラグアース極付)					
安全装置	過昇温防止	バイメタル式					
	空焚防止	電子制御式					
	温度センサー異常検出	電子制御式					

※松下電工品番

★水温 15℃時

## 共通項目

---

MEMO

# 工事要領

製品を正しく取り付けるために必ずこの工事要領に沿って施工してください。

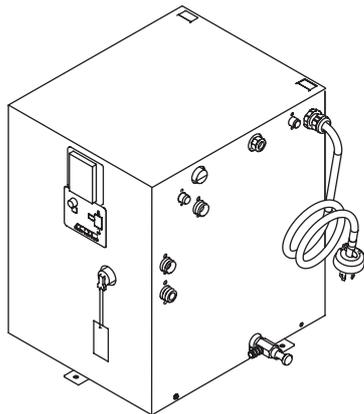
施工前にご確認ください

## 施工前にご確認ください

### ① 部品の確認

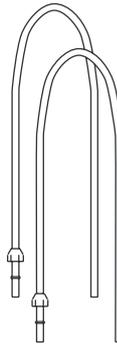
【製品に同梱されています】

#### ES-DW3B 本体



各型番の違いはP.5参照→

#### 付属品・・・全型番共通のもの



8φ逃しパイプ×2本  
(0.7m)



工事要領・取扱説明書×1  
(この冊子です。当冊子は工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。)

#### 付属品・・・型番により異なるもの

##### 【省エネ温調タイマー付き機種】 ES-DW3Bの場合



省エネ温調タイマー取扱説明書×1  
(工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。)

##### 【携帯コン付き機種】 ES-DW3B-Mの場合



携帯コン取扱説明書×1  
(工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。)

### 【お客様にてご手配ください】

#### お客様手配品 (必ず事前にご用意ください。)

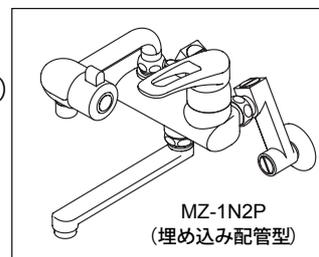
- ① 混合水栓・・・出湯するため必要です。
- ② 止水栓・・・排水やメンテナンス時に給水を止めるため必要です。
- ③ 漏電ブレーカー・・・万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA・0.1秒)
- ④ アンカーボルト・・・給湯器を取り付ける際に必要です。(2本)
- ⑤ 袋ナット・ユニオン・・・配管を取り外せるように施工するために必要です。
- ⑥ シールテープ・・・配管接続部分から漏水させないために必要です。

**オプション** (弊社にてお求めいただけます)

- ⑦二次給水口用キャップ・・・ 混合栓用給水口や熱湯口を使用しない場合にBCまたはSUSのキャップをご用意ください。

**別売品** (弊社にてお求めいただけます)

- ⑧ブローキャッチャー・・・ 簡単な工事で設置可能な膨張水排出装置です。臭気も湿気も外に漏らさず処理するため非常に便利で快適です。※ ES-DW3Bとブローキャッチャーを併せてお使いいただく場合は、型番「BCH-2」およびオプションのチーズアダプターをお求めください。
- ⑨まぜまぜP・・・・・・ ES-DW3B 専用の熱湯専用給湯口がついたワンレバー式混合栓。埋め込み配管型 (型式 MZ-1N2P) と立ち上がり配管型 (型式 MZ-3N2P) がございます。
- ⑩ NT-1、KG-2・・・・・・ お湯使用のために設計された熱湯専用栓 (NT-1) と混合栓 (KG-2)。



**②設置場所の確認**

**チェックリスト**

項目	チェック内容	チェック
凍結対策	冬季にも凍結しない場所ですか？ 冬季に凍結する場所の場合、保温工事が必要になります。	<input type="checkbox"/>
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？ メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスの際に製品を取り外すことができません。	<input type="checkbox"/>
取付床面	水平な床面ですか？ 水平でない場合はお取り付けいただけません。	<input type="checkbox"/>
配管距離	運転質量に耐えられる床面ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	<input type="checkbox"/>
給水圧力	混合水栓までの距離が2m以内に収まる場所ですか？ 放熱ロスを防ぐため、給湯配管は最長でも2m以内におさえてください。	<input type="checkbox"/>
	給水圧力は0.1MPa以上ありますか？ 給湯器が正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。	<input type="checkbox"/>

**ES-DW3B 型の離隔距離**

この給湯器は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。

消防法 基準適合 組込形	
場所	離隔距離 (cm)
上方	0
左方	0
右方	0
前方	0
後方	0
下方	0

# 施工する

## ①設置する

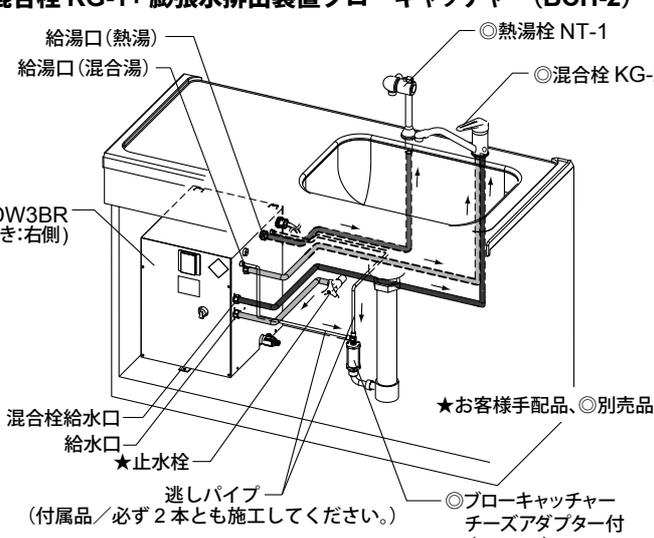
<b>⚠警告</b>	
	<b>屋外に設置しないでください。</b> 感電や故障の原因となります。
	<b>湿気の多い場所や浴室には設置・使用しないでください。</b> 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障や感電のおそれがあります。

<b>⚠注意</b>	
	<b>床面に防水・排水処理を施してください。</b> 水漏れが起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。
	<b>給湯器の運転質量に十分耐えられる強度を持った床面に必ず水平に設置してください。</b> 故障の原因となります。

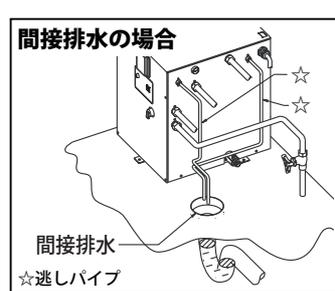
## 配管参考図

**ES-DW3BR+専用熱湯栓 NT-1+混合栓 KG-1+膨張水排出装置ブローキャッチャー (BCH-2)**

専用間接排水口 (トラップ付) を設けない場合は右図のように、必ず当社の膨張水排出装置ブローキャッチャー (BCH) など逃し弁の間欠エア抜き弁の膨張水の排水処理をしてください。

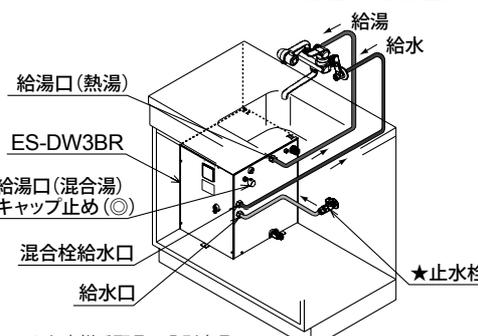


**間接排水の場合**



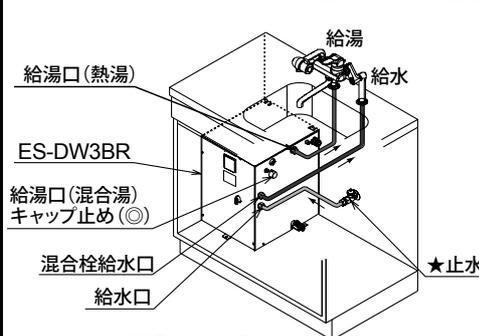
間接排水  
☆逃しパイプ

**ES-DW3BR+MZ-1N2P (埋込み配管型)**



★お客様手配品、〇別売品  
【注意】逃しパイプの配管は省略。上図をご覧ください。

**ES-DW3BR+MZ-3N2P (立ち上がり配管型)**



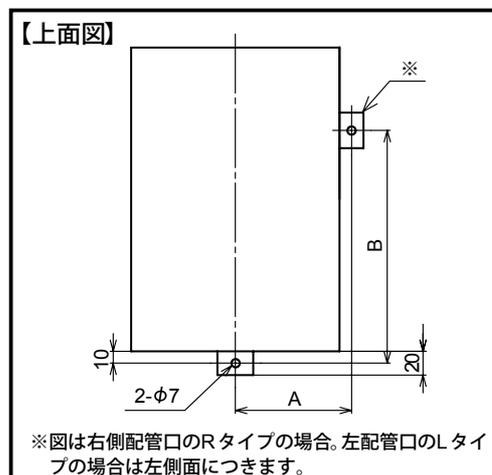
★お客様手配品、〇別売品  
【注意】逃しパイプの配管は省略。上図をご覧ください。

### 電気給湯器の設置

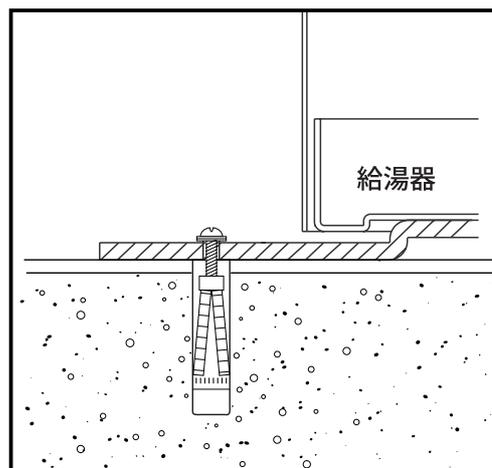
- ① 給湯器を取り付ける位置を決定し、取付ビス位置をケガきます。

【各型番取付寸法表】

項目 型番	取付寸法	
	A	B
ES-12DW3B/-M (R/L)	135	259
ES-20DW3B/-M (R/L)	160	285
ES-25DW3B/-M (R/L)	195	310
ES-30DW3B/-M (R/L)		
ES-35DW3B/-M (R/L)		
ES-50DW3B/-M (R/L)		



- ② ケガいた位置 2ヶ所に下穴を開け、アンカーボルト等 (お客様手配品) でしっかり固定してください。

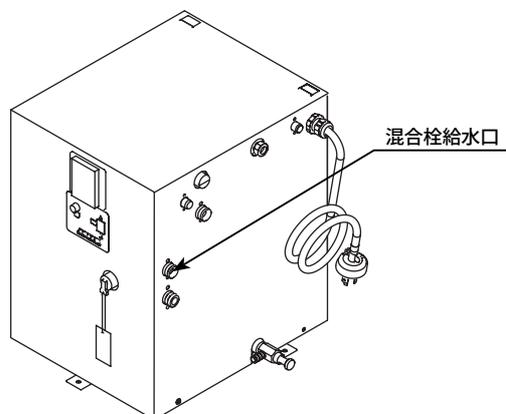


②配管工事

<b>⚠注意</b>	
⊘	<p>水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。水道水に添加物を混ぜることも同様の危険があります。</p>
!	<p>異種金属の配管をする場合は、電食防止処置を施してください。 漏水の原因になります。</p>
	<p>逃しパイプはかならず下り勾配で取り付けてください。 膨張水が逆流するおそれがあります。</p>
	<p>規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作や故障の原因になります。</p>
	<p>水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。 タンクや配管が破裂してやけどをするおそれがあります。</p>



- ・湯切れを避けるため、給湯口数(給湯栓数)は給湯器の給湯能力に見合った個数にしてください。
- ・膨張水の処理は当社の膨張水排出装置ブローキャッチャーもしくは間接排水にて行ってください。
- ・放熱ロスを防ぐため、給湯配管は最長でも2m以内におさえ、保温工事を行ってください。
- ・袋ナットやユニオン(お客様手配品)を使用して、メンテナンスや修理の際に取り外せるようにしてください。また、配管接続部は漏水防止のためシールテープ(お客様手配品)を使用してください。
- ・混合水栓への給水は給湯器の混合栓給水口からお取りください。水道を直接接続すると、湯水の圧力が異なるためスムーズに混合しません。



- ①給水一次側にお客様手配品の止水栓を取り付けてください。
- ②各配管接続口についているキャップを取り外し、P.11の配管参考図をご参照の上、配管を行ってください。

### ③電気工事

 <b>警告</b>	
	<b>アース (D種接地) 工事を確認してください。</b> アース工事がされないと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。
	<b>電圧は規定電圧の± 10%以内でお使いください。</b> 火災の原因になります。
	<b>必ず電源一次側に漏電ブレーカーを取り付け、動作を確認してください。</b> 万一の故障等による漏電の時に感電するおそれがあります。
	<b>絶対に改造はしないでください。</b> 火災・感電・やけどやケガの原因となります。

①電源一次側にお客様手配品の漏電ブレーカーを取り付け、D種接地工事を行ってください。

### ④施工後の確認

#### チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
設置工事	給湯器にがたつきはありませんか？	<input type="checkbox"/>
	各配管、継手に漏水はないですか？	<input type="checkbox"/>
配管工事	給水管や給湯管の接続部分にゆるみはありませんか？	<input type="checkbox"/>
	漏電ブレーカーは正しく作動しますか？	<input type="checkbox"/>
電気工事	D種接地工事は正しく行われていますか？	<input type="checkbox"/>

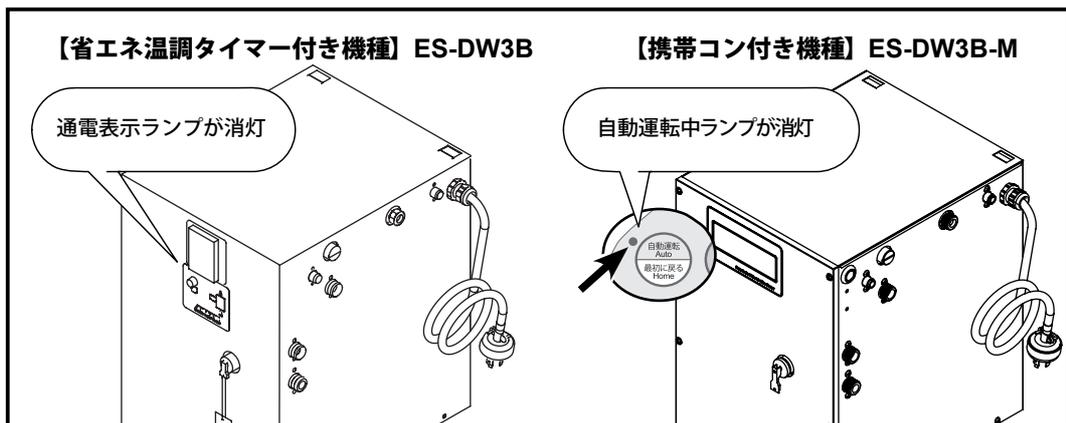
## 試運転を行う

<b>⚠警告</b>	
	<b>アース (D種接地) 工事を確認してください。</b> アース工事がされないと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。
	<b>電圧は規定電圧の± 10%以内でお使いください。</b> 火災の原因になります。
	<b>本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。</b> 発火のおそれがあります。
	<b>湿気の多い場所や浴室には設置・使用しないでください。</b> 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障や感電のおそれがあります。
	<b>給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。</b> やけどのおそれがあります。

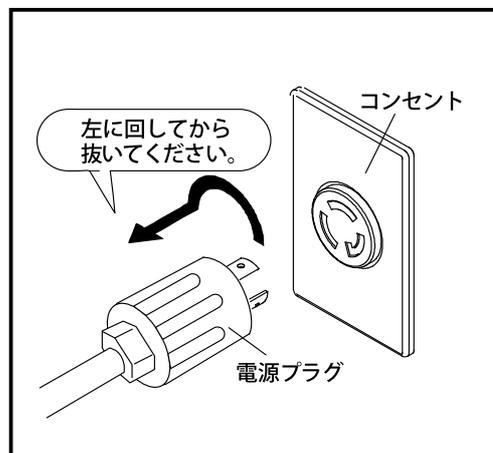
<b>⚠注意</b>	
	<b>給湯器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。</b> 落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
	<b>水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。</b> 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。水道水に添加物を混ぜることも同様の危険があります。
	<b>満水にしてから通電してください。</b> 過熱して発火や故障の原因となります。
	<b>規定の給水圧力にてご使用ください。</b> 誤動作や故障の原因になります。
	<b>定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。</b> 万一の不動作でタンクが破損したり事故の原因になります。

### ①給湯器に給水する

- ①運転スイッチがOFF になっていること確認してください。  
 【省エネ温調タイマー付き機種】 通電ランプが消灯している状態。  
 【携帯コン付き機種】 自動運転中ランプが消灯している状態。

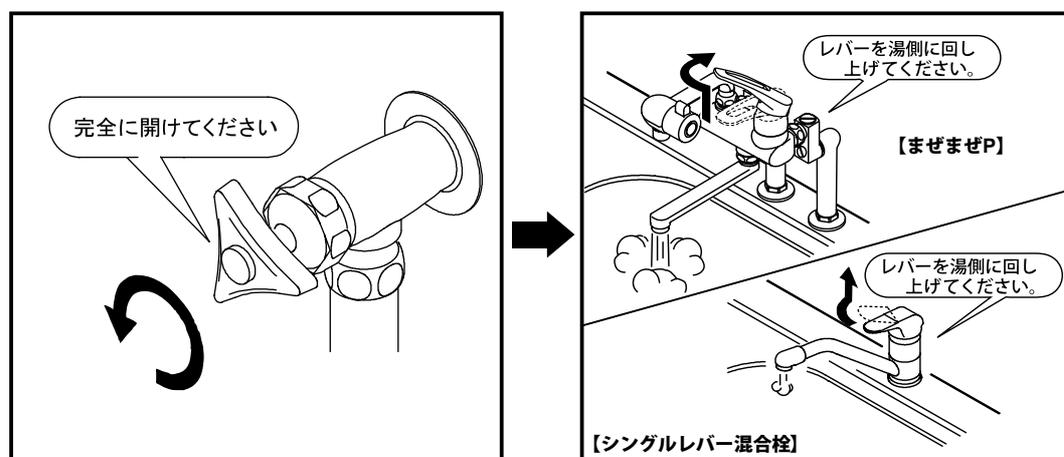


- ②電源プラグがコンセントから外れていることを確認してください。

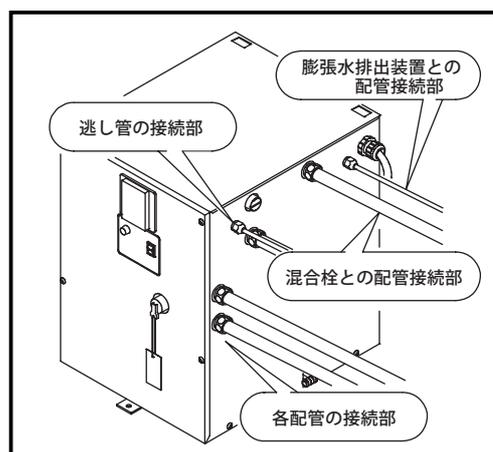


- ③止水栓を全開にしてから混合栓の湯側を全開にし、水の量が安定するまで流し続けます。(給湯器のタンクが満水になるまでは空気を含んだ水が出ます)

水の量が安定したら配管の汚れをタンク内から排出するため、そのまましばらく流し続けてください。



- ④混合栓を閉め、配管接続部からの水漏れがないか確認します。

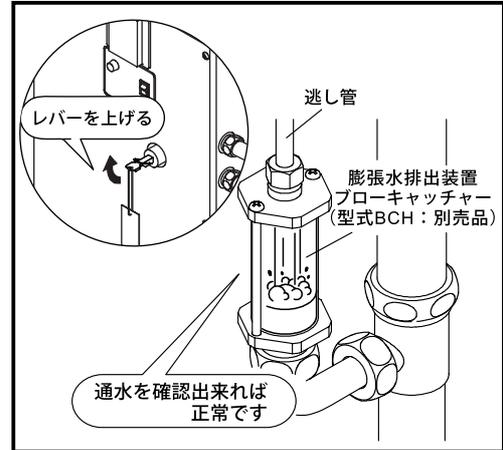


## 工事要領

### 試運転を行う

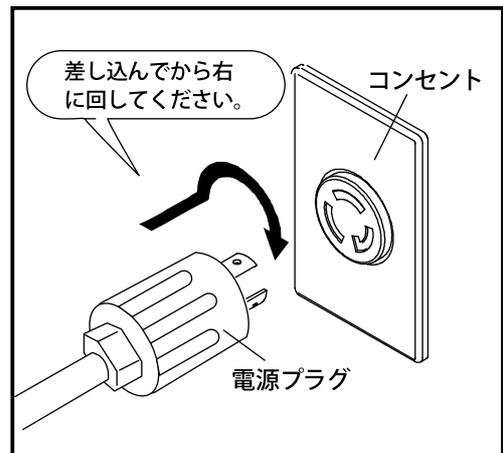
- ⑤ 逃し弁テストレバーを上げて、逃し弁が正しく作動するか確認します。

確認後はレバーを必ず元に戻してください。(逃し弁から水が排出され続け、設定温度に沸かし上げることができません。)

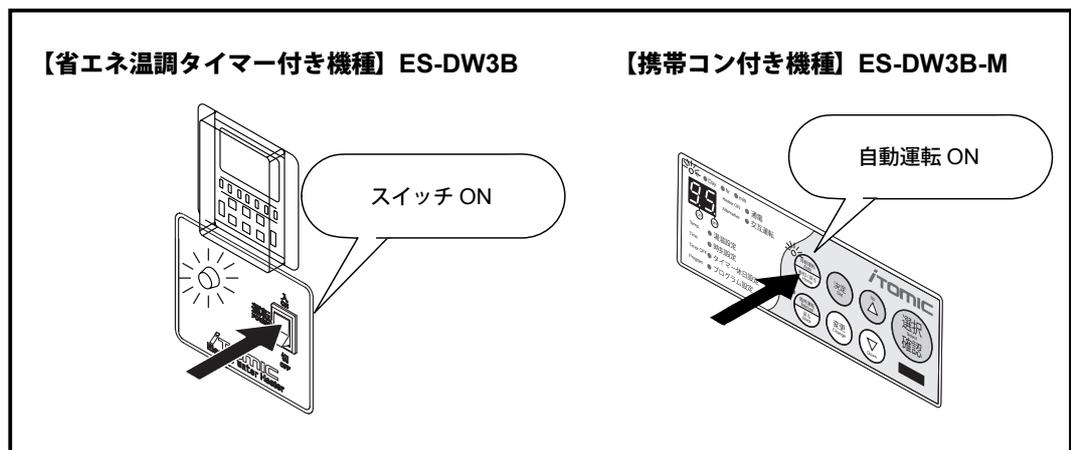


## ② 試運転を行う

- ① 電源プラグをコンセントに差し込み、一次側に設置した漏電ブレーカーをONにします。



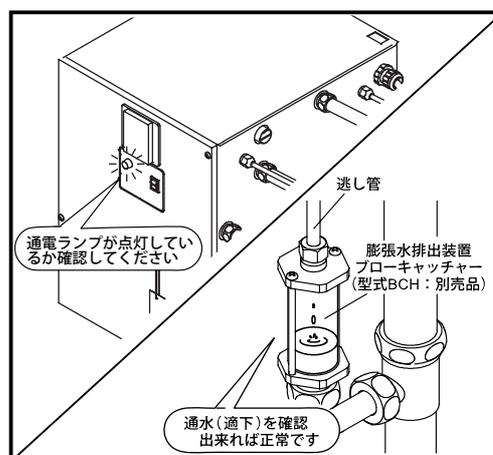
- ②【省エネ温調タイマー付き機種】 運転スイッチを入れてください。  
【携帯コン付き機種】 自動運転スイッチを入れてください。



試運転を行う

- ③通電ランプが点灯し（携帯コン付きのES-DW3B-Mは自動運転中ランプが点灯）、時々逃しパイプより膨張水が排出されるのを確認してください。

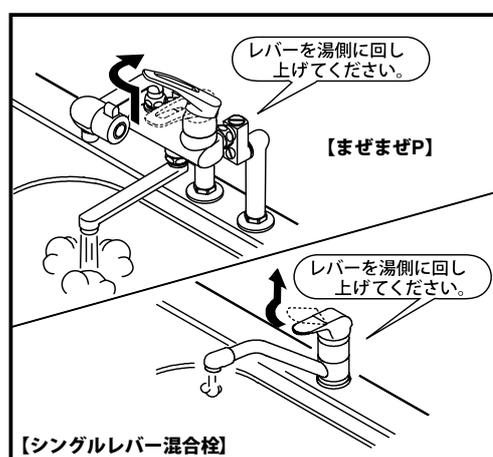
設定温度に沸き上がると通電ランプは消灯します。（沸き上がり時間はP.23『沸き上がり時間表』を参考にしてください）



- ④沸き上がった後、給湯栓からお湯が出れば正常です。

**注意** 確認の際には熱湯にご注意ください。  
やけどの危険があります。

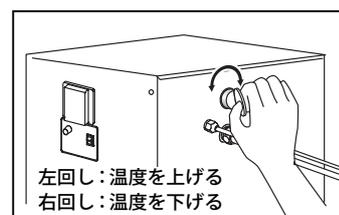
温度設定やタイマー運転に関しては製品に付属しているタイマーの取扱説明書をご参照ください。



混合給湯口からの湯温を調節するには？



- 混合給湯口からのお湯が熱い、もしくはぬるい場合は自動混合弁温調ツマミをコインなどで回すことで混合給湯口から出るお湯の温度を30℃～50℃に変えることができます。



③試運転後の確認

チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
漏水	各配管、継手に漏水はないですか？	<input type="checkbox"/>
電圧	規定電圧±10%以内ですか？	<input type="checkbox"/>
ヒーター絶縁抵抗	1MΩ以上ありますか？	<input type="checkbox"/>
ストレーナー	ストレーナーの中にゴミ詰まりはないですか？（→P.33参照）	<input type="checkbox"/>
給湯	給湯栓を開くとお湯が出ますか？	<input type="checkbox"/>

以上で施工終了です。

## 工事要領

---

MEMO

# 取扱説明

---

製品を正しくお使い頂くため、給湯器をお使いの前によくお読みください。

## 使用方法

<b>⚠警告</b>	
	アース (D種接地) 工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。
	電圧は規定電圧の± 10%以内でお使いください。 火災の原因になります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカーを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電の時に感電するおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 火災・感電・やけどやケガの原因となります。
	設置・リセット操作・メンテナンス時以外は前面カバーを開けないでください。 感電・やけどのおそれがあります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	湿気が多い場所や浴室には設置・使用しないでください。 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障や感電のおそれがあります。
	逃し弁点検時は、逃し弁や配管に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

<b>⚠注意</b>	
	給湯器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
	給湯温度が 60℃以下の場合は、飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
	水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。水道水に添加物を混ぜることも同様の危険があります。
	満水にしてから通電してください。 過熱して発火や故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作や故障の原因になります。
	定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。 万一の不動作でタンクが破損したり事故の原因になります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損するおそれがあります。

## ①使用前の準備と確認

ご使用前に次の事をご確認ください。

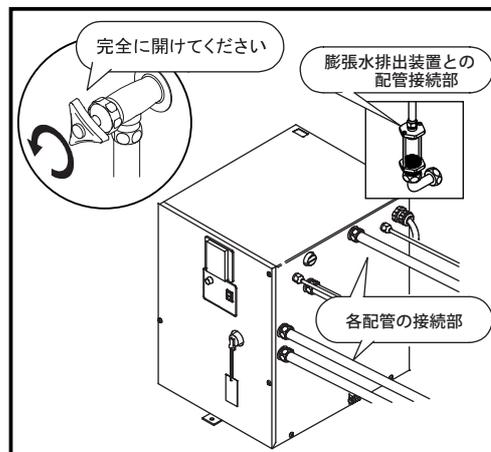
### チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
本体まわり	近くにガス類や引火物がないですか？	<input type="checkbox"/>
	本体の上には物などを載せていませんか？	<input type="checkbox"/>
	逃し弁が吹き出ていませんか？（→ P.28 『逃し弁の動作確認』参照）	<input type="checkbox"/>

## ②運転する

⚠ 注意	
⊘	<p>給湯器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。</p> <p>水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。水道水に添加物を混ぜることも同様の危険があります。</p>
!	<p>満水にしてから通電してください。過熱して発火や故障の原因となります。</p> <p>規定の給水圧力にてご使用ください。誤動作や故障の原因になります。</p>

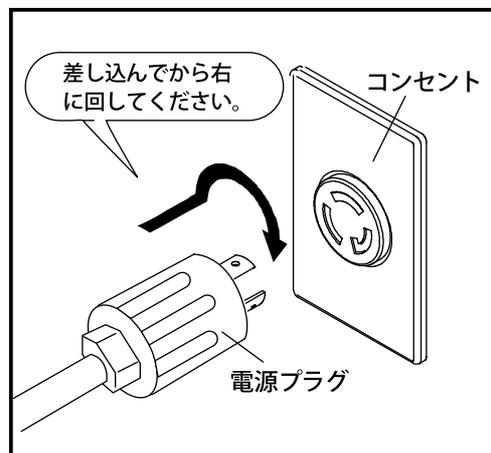
- ① 止水栓を開いてタンクに給水し、給湯器本体や配管部からの水漏れがないか確認してください。



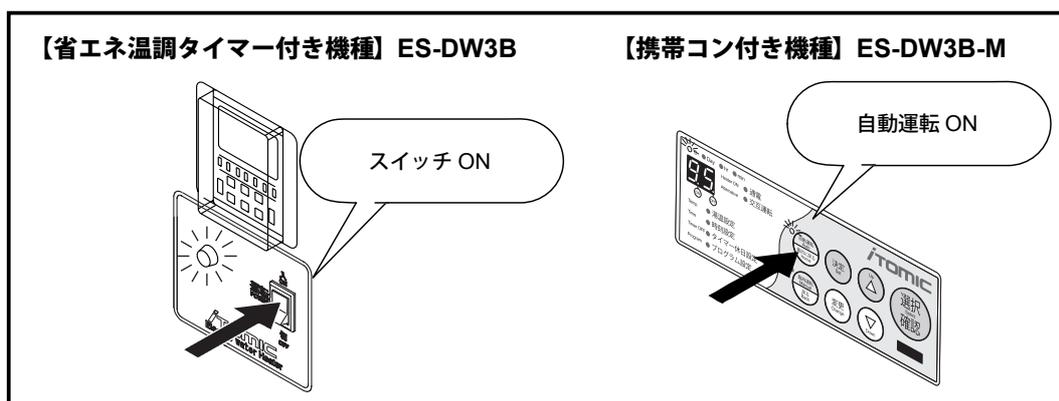
## 取扱説明

### 使用方法

- ② 電源プラグをコンセントに差し込み、一次側に設置した漏電ブレーカーをONにします。



- ③【省エネ温調タイマー付き機種】 運転スイッチを入れてください。  
【携帯コン付き機種】 自動運転スイッチを入れてください。



省エネ温調タイマー付のES-DW3Bをお使いの場合は運転スイッチをONにすると、携帯コン付きのES-DW3B-Mは自動運転スイッチをONにすると、それぞれ工場設定の自動運転【おすすめプログラム】(月・火・水・木・金・土の6:30～18:30に運転)で運転を始めます。

沸かし上げ温度変更や運転時間・曜日を変更したい場合は、それぞれの製品に付属の省エネ温調タイマーもしくは携帯コン取扱説明書をご参照の上、お好みの運転設定を行ってください。(運転開始から沸かし上げにかかる時間は下記『沸き上がり時間の目安』をご参照ください。)

### 沸き上がり時間の目安

#### 沸き上がり時間表

(※ 端数は切り上げ)

型番	ES-12DW3B/M		ES-20DW3B/M		ES-25DW3B/M		ES-30DW3B/M		ES-35DW3B/M		ES-50DW3B/M	
貯湯量(ℓ)	12		20		25		30		35		50	
標準ヒーター容量(kW)	1.1	1.5	2.1	3.0	2.1	3.0	2.1	3.0	2.1	3.0	2.1	3.0
沸き上がり時間(分) <sup>※1</sup>	61	45	54	38	67	47	80	56	93	66	133	93
使用範囲の目安(人) <sup>※2</sup>	96		160		200		240		280		400	

※1: 沸き上がり時間の算出: 水温15℃、沸き上がり温度90℃の場合。(80℃昇温)

※2: 使用範囲の目安: 飲用可能温度を80℃とし、100cc/杯として算出。

#### 算出方法

$$\text{沸き上がり時間(分)} = \frac{\text{貯湯量(ℓ)} \times (\text{沸き上がり温度} - \text{水温}) \times 60 \text{ (分)}}{\text{ヒーター容量(kW)} \times 860 \text{ (kcal/h)}}$$

## ③出湯する

## ⚠警告



給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。  
やけどのおそれがあります。

## ⚠注意

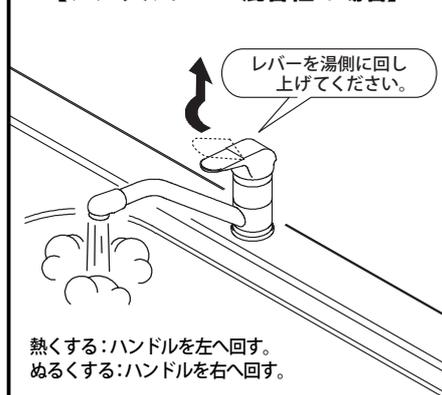


給湯温度が 60℃以下の場合、飲用にしないでください。  
健康を害するおそれがあります。

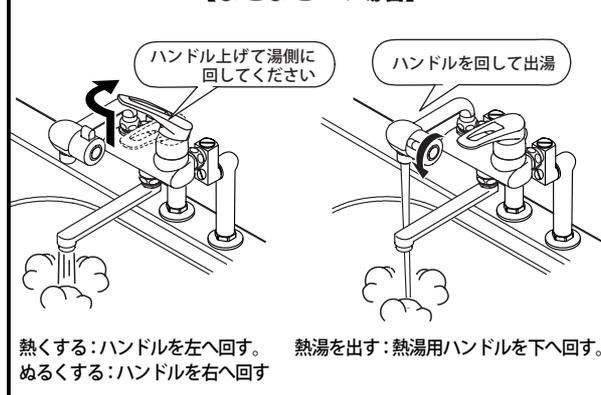


満水にしてから通電してください。  
過熱して発火や故障の原因となります。

## 【シングルレバー混合栓の場合】

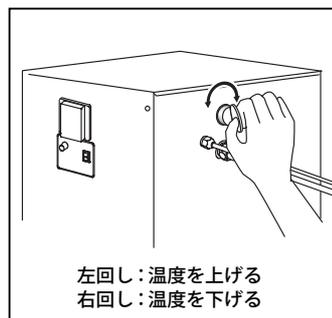


## 【まぜまぜPの場合】



## 混合給湯口からの湯温を調節するには？

- 混合給湯口からのお湯が熱い、もしくはぬるい場合は自動混合弁温調ツマミをコインなどで回すことで混合給湯口から出るお湯の温度を30℃～50℃に変えることができます。



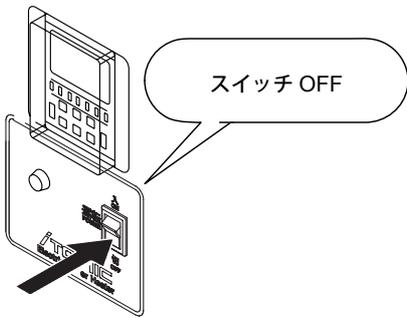
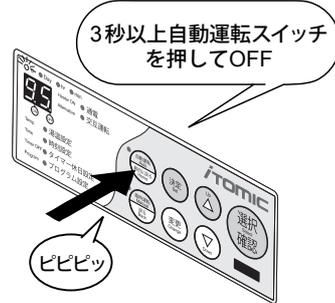
## 長期間使用しないときは(排水の方法)

⚠ 警告	
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出る場合がありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

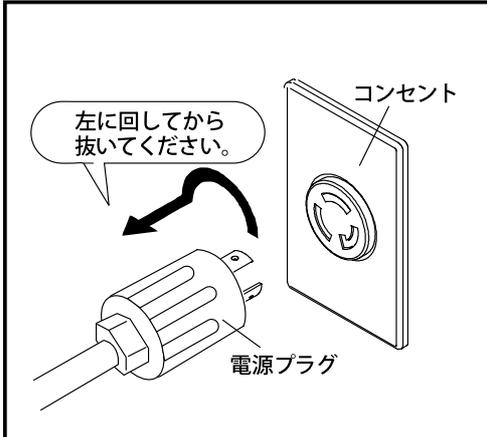
⚠ 注意	
	満水にしてから通電してください。 過熱して発火や故障の原因となります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損するおそれがあります。

1ヶ月以上の長期間、給湯器をご使用にならない場合には水質劣化を防ぐため、下記の手順に沿ってタンク内のお湯を抜いてください。

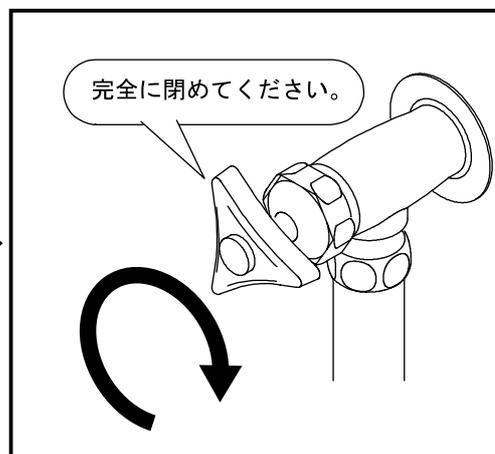
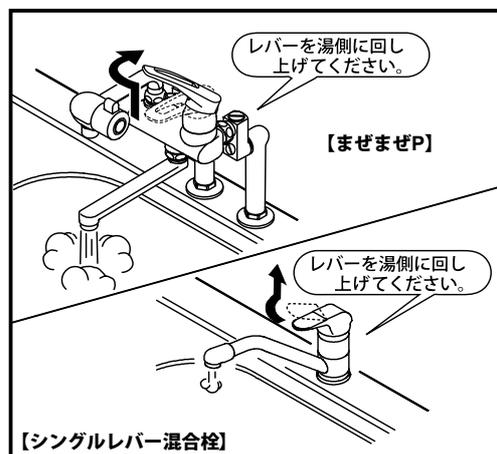
- ① 運転スイッチをOFFにします。  
【省エネ温調タイマー付き機種】 運転スイッチをOFFにしてください。  
【携帯コン付き機種】 自動運転スイッチを3秒以上押ししてOFFにしてください。

【省エネ温調タイマー付き機種】 ES-DW3B	【携帯コン付き機種】 ES-DW3B-M
	

- ② 運転スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜きます。

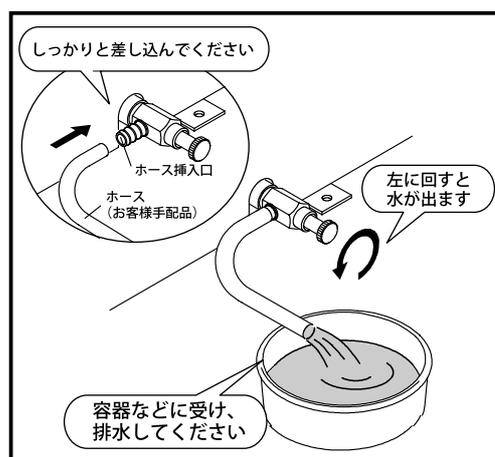


- ③熱湯に注意してタンク内のお湯が完全に水になるまで出し切り(※湯の温度が高い場合には給水側を少し開けてください)、止水栓を完全に閉めます。



- ④排水を受ける容器を用意し、ホース(お客様手配品)を排水栓のホース挿入口にしっかりと差し込み、ツマミを回して排水します。

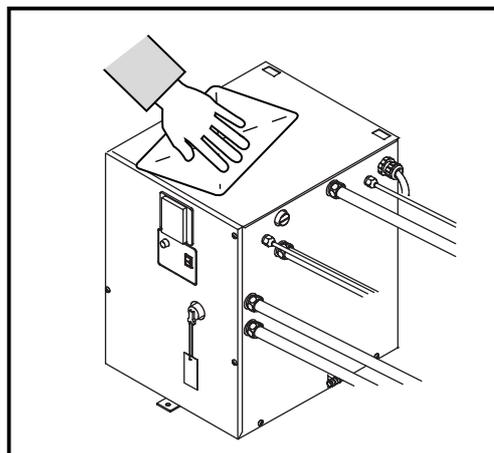
- ⑤排水が終了したら、排水栓のツマミを回して排水栓を閉めてください。



## お手入れの方法

### 外装のお手入れ

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは薄い石鹼水に浸して固く絞った布で拭いてください。また、清掃時には研磨剤や溶剤などは使用しないでください。



## 保守点検項目と実施の目安

<b>⚠警告</b>	
	設置・リセット操作・メンテナンス時以外は前面カバーを開けないでください。 感電・やけどのおそれがあります。
	電圧は規定電圧の±10%以内でお使いください。 火災の原因になります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカーを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電の時に感電するおそれがあります。
	逃し弁点検時は、逃し弁や配管に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出る場合がありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

<b>⚠注意</b>	
	定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。 万一の不動作でタンクが破損したり事故の原因になります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 凍結してタンクが破損するおそれがあります。

点検項目	点検内容	点検の目安
電圧の測定	規定電圧の±10%の範囲で使用されていることを確認してください。 過電圧はヒーター断線の原因になります。また、低電圧の場合は能力が低下します。	1回/月
電流値の測定	定格電圧の±10%の範囲で使用されていることを確認してください。 使用開始時と再使用時には特にご注意ください。	
ヒーター 絶縁抵抗測定	絶縁抵抗計(500Vメガー)にて測定、1MΩ以上あることを確認してください。	
サーモスタットの 作動点検	設定温度と温度を比較して、温度調整が正常に行われていることを確認してください。	
<b>重要</b> 逃し弁の 作動点検	逃し弁のトラブルによる水漏れを防止するために、正常動作の確認は絶対必要です。逃しパイプから常時水が出ていないか確認してください。(P.28『逃し弁の動作確認』参照) <b>逃し弁と減圧弁は消耗品です。劣化による動作不良や水漏れを防止するため定期的な交換(お取り付け日より5年が目安)が必要です。</b> ご購入は裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社にご依頼ください。	
漏水の点検	本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	
コードおよび プラグの点検	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。 トラッキング現象による火災防止のために一次側ブレーカーをOFFにし、コンセント周囲やプラグを乾いた布等で清掃してください。	
湯槽内部の 清掃	湯槽やヒーターを保護するためにも、槽内の湯アカや底部のスラッジを除去する必要があります。給水栓および給湯栓を全開にして槽内の水を強制的に入れ替えてください。	

(注)給湯器を長期間使用しない場合は凍結によるタンクの破損や水質変化防止のため、タンク内の湯を排水してください。→P.28参照。

## 逃し弁の動作確認

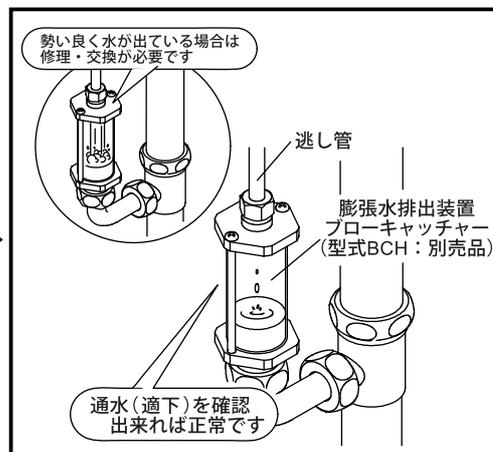
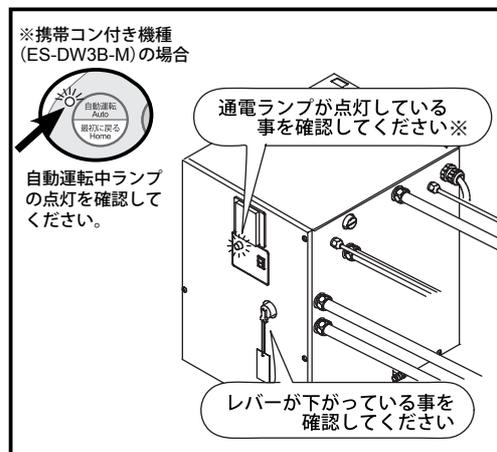
<b>⚠警告</b>	
	逃し弁点検時は、逃し弁や配管に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。

<b>⚠注意</b>	
	定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。 万一の不動作でタンクが破損したり事故の原因になります。

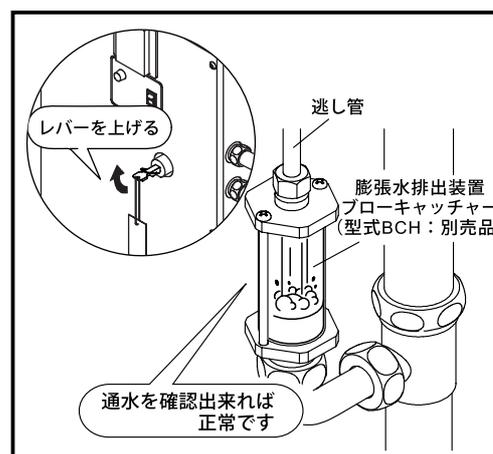
逃し弁が作動しなくなるとタンクの破損や事故の原因となります。定期的に逃し弁の動作確認を行なってください。

**逃し弁は消耗品です。劣化による動作不良や水漏れを防止するため定期的な交換（お取り付け日より5年が目安）が必要です。**ご購入は裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社にご依頼ください。

- ① 通電ランプが点灯していること（携帯コン付きのES-DW3B-Mは自動運転中ランプが点灯していること）、逃し弁テストレバーが下がっていること、間接排水が正常に行われていることを確認してください。



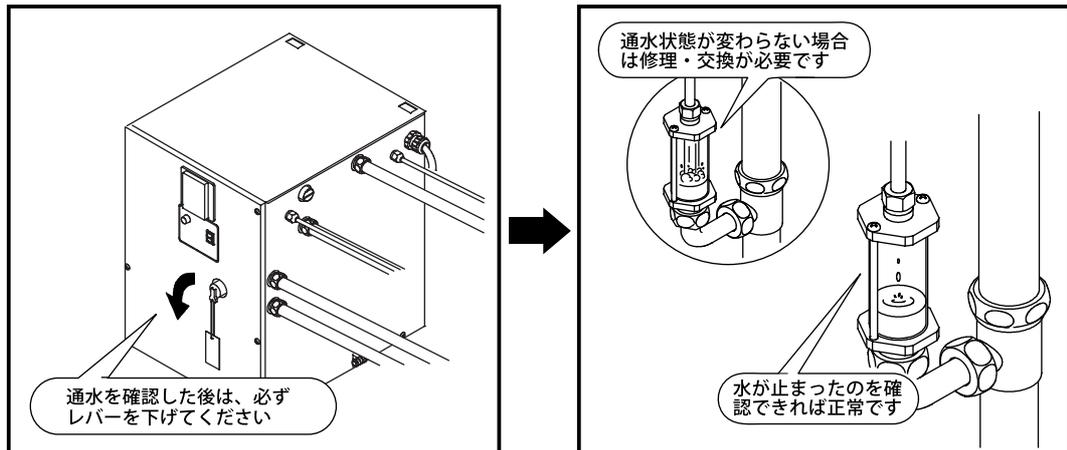
- ② 逃し弁テストレバーを上げ、通水を確認してください。正常に通水しない場合は故障ですので、弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社へご連絡ください。



## 取扱説明

### 保守点検項目と実施の目安

- ③通水が確認できたら必ず逃し弁テストレバーを下げて水が止まる事を確認してください。(レバーを上げたままの場合、逃し弁から水が排出され続けて設定温度に沸かし上げることができません。)



逃し弁の内部にゴミが付着すると水が流れ続ける場合があります。そのような時は逃し弁レバーを立て、しばらく水を流した後で再度確認を行ってください

## こんなときは

給湯器が正しく運転しない場合や不調な際の修理ご依頼の前にご確認ください。

状 況	ご確認ください	対処方法
湯が沸かない 湯にならない	一次側のブレーカーがOFFになっていませんか？	漏電ブレーカー、またはノーヒューズブレーカーをONにしてください。
	プラグは確実にコンセントに差し込んでありますか？	確実に差し込んである場合でも、結線部が断線していることもありますので、点検してください。
	タイマーの設定や運転スイッチがOFFになっていませんか？	運転スイッチがOFFの場合はONにしてください。 タイマーは設定を変えてみて、通電すればセットし直してください。設定方法は付属のタイマー取扱説明書をご参照ください。
	ヒーターが断線していませんか？	導通を確認して下さい。不良の場合は交換が必要です。
	逃し弁は正常ですか？湯が逃しパイプから出続けてませんか？	通常ポタポタ出るのは正常ですが常時吹き出しているのは故障です。ゴミがかんていたり減圧弁の故障の可能性もあります。裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
	過昇温防止装置が作動していませんか？	本器には“空焚き検知”および“過昇温防止”（温調サーモスタットのトラブル時などに発生するオーバーヒート防止）兼用装置が装備されています。 復帰するには原因を取り除いた上、修理技術者様にご依頼ください。（手順はP.32『リセットの方法』参照）
湯温が低い または沸き上がり時間が長すぎる	湯を使用した直後ではありませんか？	瞬間式ではありませんので沸き上がるまで時間がかかります。
	逃し弁は正常ですか？	通電時、ポタポタ出るのは正常ですが常時吹き出しているのは故障です。ゴミがかんていたり減圧弁の故障の可能性もあります。裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
	電圧の誤り、または電圧が低くありませんか？	100Vの給湯器を200Vで使用するとコントローラが破壊されます。200Vの給湯器を100Vで使用することはできません。
	水温が低くありませんか？	秋から冬にかけて水温が急激に下がります。従って沸き上がり時間もかかります。
	サーモスタット、またはヒーターの故障ではありませんか？	ヒーターの導通を測ってください。
混合給湯口から非常に熱い湯が出る	電気給湯器の混合バルブが故障していませんか？	混合給湯口からの出湯温度は約50℃です。それ以上の温度になっている場合はただちに使用を中止し、裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。

## 取扱説明

こんなときは

状 況	ご確認ください	対処方法
湯量が少ない 湯も水も出ない	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
	給水量が不足しているのではありませんか？	止水栓が開いていない場合は開けてください。減圧弁やストレーナーに詰まりがある場合は設備業者様にご依頼し、取り除いてください。
	止水栓が閉まっていますか？	閉まっていたら開けてください。
湯が臭い 湯が汚れている	新設後で槽内に配管時の油や接着剤が残っていませんか？	新設時は工事の際のカuttingオイル等が流入することがありますので、水をしばらく出し続けてください。ステンレス自体の臭いは2週間ほどで消えますのでそのままご使用ください。
	長期間の休止後ではないですか？ または断水直後ではないですか？	休止後は水の汚れや配管内の錆が出ることがあります。自動水栓から水を出し続けて湯槽内の水を入れ替えてください。
漏水している	どの部分からですか？	給水給湯接続部の場合は締め直してください。膨張水の処理配管（逃しパイプ）接続部も点検して下さい。また、本体からの場合は止水栓を閉めた後、その旨を裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
給水時に給湯器本体や配管が振動音を発する	給水管に30cm以上フレキ管を使用しているか、配管支持がされていないのではありませんか？	配管を固定していないと水圧の変動「ウォーターハンマー」の影響が直接出る場合がありますので、固定してください。フレキ管の場合は給水抵抗を少なくするよう、曲げ方を工夫してください。

### その他の不具合およびエラーメッセージについて

その他の不具合および操作パネルに表示されているエラーメッセージについては、製品に付属の省エネ温調タイマーもしくは携帯コン取扱説明書をご参照ください。

それでも症状が改善されない場合は、P.35の故障状況シートをFAXいただくか、裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。

ES-DW3Bに付属  
【省エネ温調タイマー取扱説明書】



ES-DW3B-Mに付属  
【携帯コン取扱説明書】



## リセットの方法

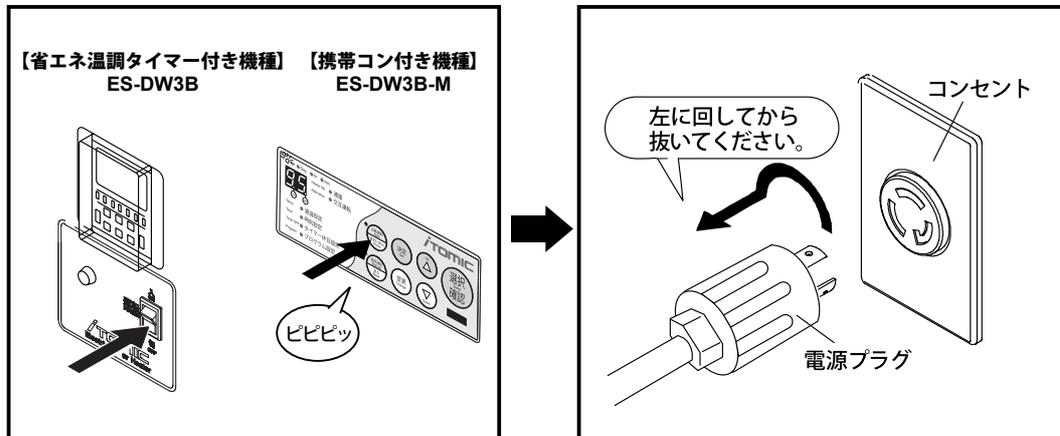
### 修理技術者の方のみ

⚠ 警告	
⊘	設置・リセット操作・メンテナンス時以外は前面カバーを開けないでください。 感電・やけどのおそれがあります。
🚫	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。

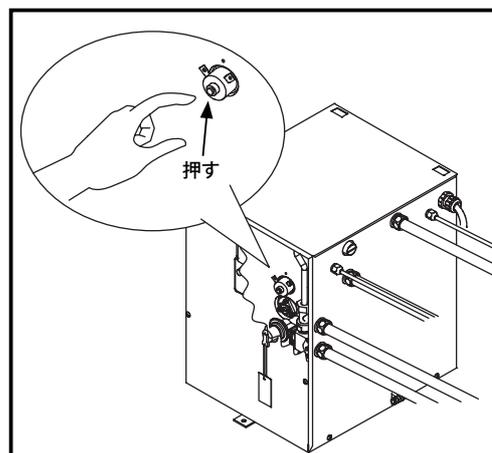
※この操作は本器内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。

ES-DW3Bには“空焚き検知”および“過昇温防止”（温調サーモスタットのトラブル時などに発生するオーバーヒート防止）兼用装置が装備されています。何らかの理由で作動し運転が停止した場合には、下記の手順でリセット操作を行ってください。

- ① 運転スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜きます。  
 【省エネ温調タイマー付き機種】 運転スイッチをOFFにしてください。  
 【携帯コン付き機種】 自動運転スイッチを3秒以上押ししてOFFにしてください。



- ② 原因を確認した上でネジ止めされている本器前面カバーをゆっくり外し、十分に温度が下がってから給湯器内部の右図の場所にある空焚・過昇温リセットボタンを押してください。



## ストレーナーの清掃

### 修理技術者の方のみ

#### 警告



給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口に直接触れないでください。  
やけどのおそれがあります。

※この操作は本器内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。

ストレーナーにゴミが詰まると混合栓から出る湯の量が少なくなったり、逃し弁の動作不良を起こす原因になります。定期的に清掃を行なってください。

#### 清掃前の準備

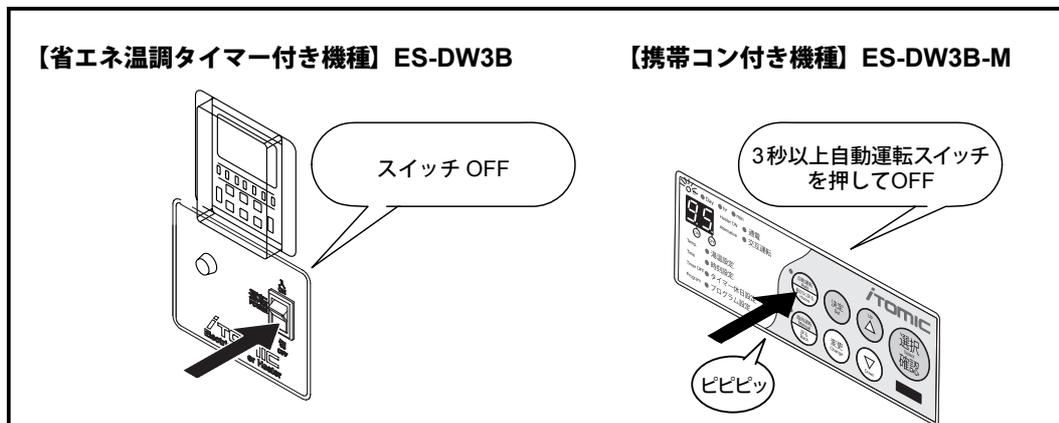
P.25 『長期間使用しないときは(排水の方法)』をご参照の上、排水を行ってください。

#### 清掃を行う

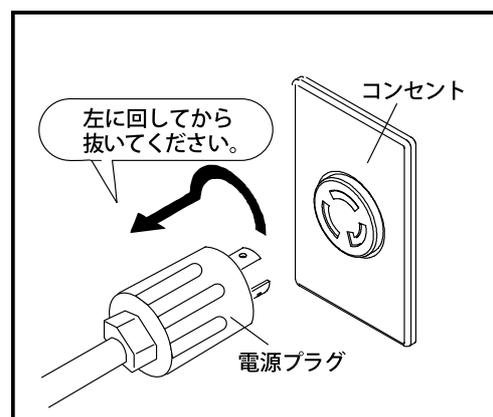
① 運転スイッチをOFFにします。

【省エネ温調タイマー付き機種】 運転スイッチをOFFにしてください。

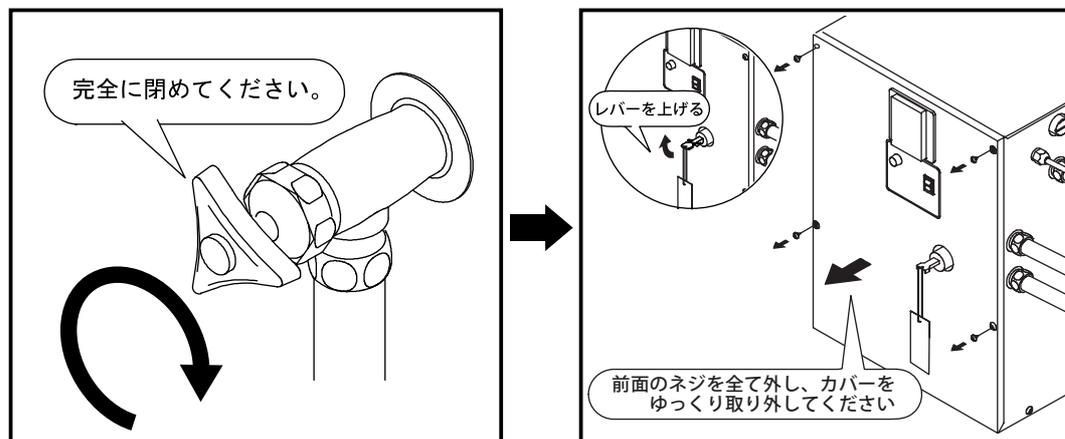
【携帯コン付き機種】 自動運転スイッチを3秒以上押し続けてOFFにしてください。



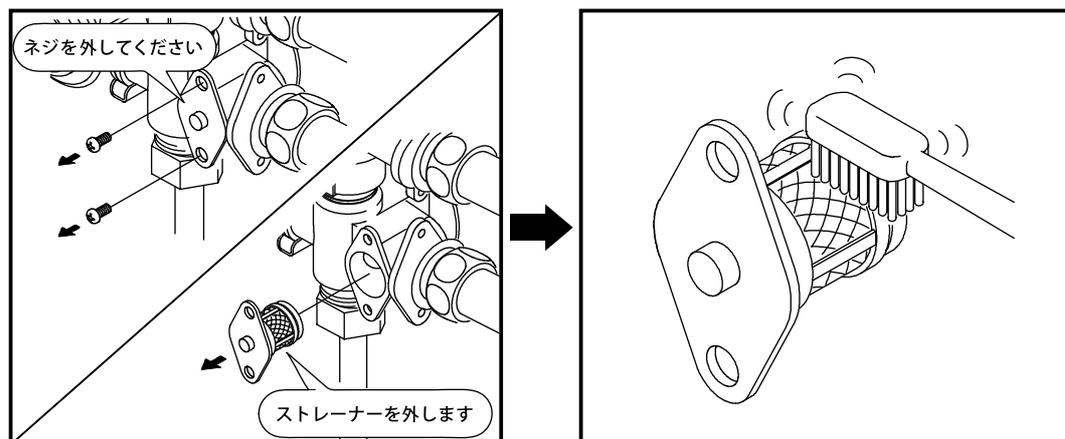
② 運転スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜きます。



- ③ 止水栓を完全に閉めた後、減圧弁テストレバーを上げて前面のネジを全て外し、前面カバーをゆっくり取り外します。

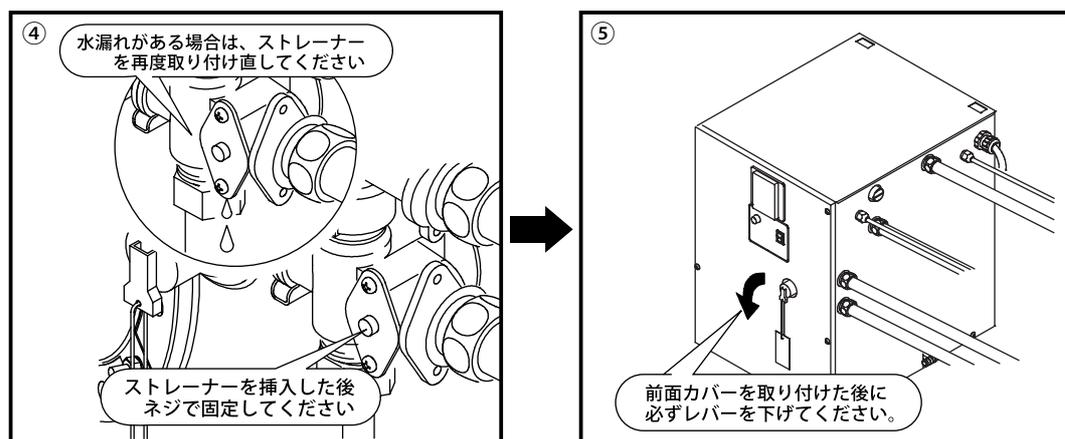


- ④ ネジを外してストレーナーを引き抜き、フィルター部分に詰まったゴミをブラシなどで取り除きます。



- ④ ストレーナーを取り外しと逆の要領で取り付けした後、給水を行い、水漏れがないか確認してください。水漏れがあった場合は再度取り付け直してください。(給水方法はP.15『①給湯器に給水する』参照)

- ⑤ 取り外した前面カバーを取り付けて、逃し弁テストレバーを下げて終了です。



## アフターサービス

### 消耗品について

逃し弁と減圧弁は消耗品です。劣化による動作不良や水漏れを防止するため定期的な交換（お取り付け日より5年が目安）が必要です。ご購入は弊社フロント課もしくは裏表紙に記載の最寄りの地区販売会社にご依頼ください。

### 修理をご依頼の際には

修理をご依頼される時は、下記の故障状況シートをコピーして必要事項にご記入いただき、FAXにてご送付ください。FAXをお使いになられていない場合は記入事項をお電話にてご連絡ください。

型番等は本体に貼られている保証票に印刷されておりますので、故障状況シートへ転記してください。

保証票 GUARANTEE LABEL	
型番 Model	<input type="text"/>
屋内用	
電源・電力	<input type="text"/>
製造番号 Serial NO.	<input type="text"/>
	最高使用圧力 MPa
株式会社 日本エーテック	

**フロント課 TEL 03-3621-2161 FAX 03-3621-2163**  
 ※もしくは裏表紙に記載の最寄り地区販売会社へご連絡ください。

故障状況シート			
貴社名	<input type="text"/>	ご担当者名	<input type="text"/>
ご住所	<input type="text"/>		
TEL	<input type="text"/>	FAX	<input type="text"/>
製品型番	ES- DW3B		
電源・電力	<input type="text"/>	製造番号	<input type="text"/>
設置場所	<input type="text"/>	保証期限	<input type="text"/>
状態	<input type="text"/>		



## 取扱説明

---

MEMO



## アドバイス&メンテナンス

# データベース管理と専門技術で安心・快適のサポート。

お買い上げいただいた機器はすべてデータベースに登録。定期点検の時期などを的確に管理し、豊富な経験と優れた技術を兼備した専門スタッフが責任をもってサポートいたします。イトミック製品を安心してお使いいただくとともに快適な温水環境をお届けするため、アドバイスとメンテナンスを心を込めて提供いたします。

### アフターサービスのお問い合わせ

**ITOMIC** 全国共通ナビダイヤル

オー!イトミック

TEL **0570-011039**

ご依頼時に必ず型番・製造番号をお知らせください。

### メンテナンス契約

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社フロント課までご連絡ください。また、部品のご注文もフロント課で承っています。

TEL : 03-3621-2161(代)

FAX : 03-3621-2163

**24時間サービス体制**

夜間専用電話 : 東京 03-3621-2161

● ISO9001 認証取得 ● 経済産業省電気用品製造事業届出工場 ● 日本水道協会検査委託登録工場 ● 日本電気工業会正会員 ● 日本ボイラ協会会員 ● 建設業許可

## 株式会社 **日本イトミック**

### 営業本部

〒130-0002 東京都墨田区業平 5-11-3 イトミックビル  
TEL 03(3621)2121(大代表) FAX 03(3621)2130

### フロント課(保守・部品・修理)

TEL 03(3621)2161(代表) FAX 03(3621)2163

### 本社工場

〒143-0002 東京都大田区城南島 4-6-8  
TEL 03(3799)7311(代表) FAX 03(3799)7310

ホームページ <http://www.itomic.co.jp/>

### 《地区販売会社・営業所》

北海道地区	●(株)北海道イトミック : 〒063-0801 札幌市西区二十四軒 1条 5-1(ラポール 24 軒 2 号館)	TEL 011(615)6681(代) FAX 011(615)7004
東北・新潟地区	●(株)東北イトミック : 〒981-3125 仙台市泉区みずほ台 4-3	TEL 022(773)6161(代) FAX 022(773)6213
中部・北陸地区	●(株)中部イトミック : 〒460-0002 名古屋市中区丸ノ内 2-16-30(丸の内魚住ビル)	TEL 052(222)2561(代) FAX 052(222)2559
近畿地区	●(株)関西イトミック(株) : 〒541-0041 大阪市中央区北浜 3-7-12(東京建物大阪ビル)	TEL 06(6226)0800(代) FAX 06(6226)0802
中国・四国地区	●(株)中国イトミック : 〒730-0051 広島市中区大手町 1-7-12(徳永ビル)	TEL 082(240)1361(代) FAX 082(240)1363
九州・沖縄地区	●(株)九州イトミック : 〒812-0007 福岡県博多区東比恵 3-28-5	TEL 092(481)3911(代) FAX 092(481)3930